高等学校 令和5年度 (1学年用) 教科
 国語
 科目 現代の国語

 教 科: 国語
 科目: 現代の国語
 単位数: 2 単位

 対象学年組:第 1 学年 A 組~ D 組
 世位数: 2 単位

 使用教科書: (筑摩書房『712 現代の国語』
)

教科 国語 の目標:

教料 国語【知 識 及 び 技 能 】【思考力、判断力、表現力等】【学びに向かうカ、人間性等】科目 現代の国語

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「読むこと」の各領域において、論理的に考えるカや深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているるとともに、読書に親しむことで自己を向しませまに親しむことで自己をの自りできせ、我が国の言語文化の担い手として積極的党をもとうとしており、よものの見方、感に他者や社会に関わったり、いる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		ì	評価規準	知	思	態	配当
			器.	書	読			_		時数
	問うこと、語ること 【知識及び技能】 問いに使われている語の意味を理解 し、主盲を理解できる語彙力を身に 付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問いかける力、問いに答える力を身 に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 与えられた問いを自分ごととして捉 多、主体的に問いに答えようとする 態度を養う。	・指導事項 本文の読解。教材と自らの経験や 出来事の関連付け、協議と発表 ・教材 「サイエンスの視点、アートの視点」、「【実践】『質問する力』を 育てよう」、プリント ・一人1台端末の活用等 教材に関連した情報の検索や文章 の読み比べ、発表の資料作り、 FormsやTeamsでの内容確認	0			【知識及び技能】 教材及び間うことに必要な要素についてを理解 している。 教材を指名読みしたり、ノートに内容をまと常用 をりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用 漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題 を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 【学びに向かの出者との関係、教材に関連した自分の身の回りのことに関心を持っている。 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意め 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意 深、関き、ものの見方、感じ方、考え方を深	0	0	0	6
	評論文への招待 【知識及び技能】 評論文を訪れための語彙を増やし、 その意味と本文での使われ方を理解 させる。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文に書かれている具体例を描象 化して理解し、別の文章とさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 授薬しなが、力を身に付けて考える。 【学び扱った評論文と関連して考える。 とのできる態度を養成する。	・指導事項 本文の読解、教材と教材外の資料 との比較や関連付け、協議と作文 ・教材 「ことばとは何か」、「システム と変異」、ブリント ・一人1台端末の活用等 教材に関連した情報の検索や文章 の読み比べ、作文の資料集め、 FormsやTeamsでの内容確認		0		【知識及び技能】 数材の内容や評論文の語彙について理解している。 数材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文について様々な観点から情報を収集、整理して、書き出す内容を検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 数材の内容、他者との関係、数材に関連した自分の身の回りのことに関心を持っている。	0	0	0	7
	定期考査						0	0		1
1 学期	言葉や身体についての違和感から深 い考察に繋げられるような姿勢を養 う。	・指導事項 本文の説解。表現と構成の本文中 本文の説解。表現と構成の本文中 の働きの理解、教材と自らの経験や 出来事の関連付け、協議と発表 ・教材 「ことばがつくる女と男」、「身 体、この遠きもの」、ブリント ・一人1台編末の活用等。 教材に関連した情報の検索や文章 の読み比べ、発表の資料作り、 FormsやTeamsでの内容確認			0	【知識及び技能】 教理的して言葉や身体の働きについて 理解している。 教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめ たりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用 漢字を書き、文や文室の中で使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題 を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 【学びに向から力、人間性等】 教材の内容した。 は、一般では、一般である。 「学びに向かの出るというできる。 「学びに向かられるというできる。 「学びに向かられるというできる。 「学びに向かの出るというできる。 「学びに向かりた」というできる。 「学びに向かりた」というできる。 「学びに向かり、人間性等」 教材の内の回りのことに関心を持つている。 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表する 深く関き、たのの見方、感じ方、考え方を深め でく聞き、たのの見方、感じ方、考え方を深め	0	0	0	7
	情報と推論 【知識及び技能】 資料やデータの読み方を理解し、自 分の文章でまとめる力を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 資料やデータを活用し、自らの意見 や立場を文章で表現しることがで るようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 資料やデータを音のと関連させる態度を養い、主体的に学ぶ力を伸長さ	・指導事項本文の誘解、表現と構成の本文中の働きの理解、資料やデータの活 用、作文・教材 「わかっていることいないこと」、「兎が自分でつづって語る生活の 話」、「【実践】社会をつくることは「一情報の整理と活用」、新聞記 事、プリント・・人1台端末の活用等検索や文章の読み比べ、作文の資料集め、FormsやTeamsでの内容確認			0	【知識及び技能】 教材の内容を通して資料やデータの扱い方、読 み方について理解している。 教材を指名読みたり、ノートに内容をまと常用 液字を書き、文や文章の中で使うことができ る。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、資料やデータの中から適切な話 題を決め、後々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容・他者との関心を持っている。 作文の内容に教材内容の理解を深めようと憤極 的で、他の作文に対しても真摯に内容を受けして、他の作文に対しても真摯に内容を受け	0	0	0	8
	「話し合い」から「議論」へ 【知識及び技能】 「観得するためのことばを身に付けさせ、会話や対話の中で使うことができる力を伸ばす。 とある力を伸ばす。 「思考力、平に関連した思考と表現ができる力をすのする。 「学びに向かう力、人間性等】 議論に積極的で、建設的な話し合いを行う姿勢を養う。	・指導事項本文の読解、表現と構成の本文中の働きの理解、資料やデータの活用、作文・教材「誰かの動を履いてみること」、「(私)時代のデモクラシー」、「【実践】『義論する力』を育てよう」、ブリント・一人1台端末の活用等教材に関連した情報の検索や文章の読み比べ、討論のための資料集め、FormsやTeamsでの内容確認	0			「知識及び技能」 教材の内容を通して議論と話し合いの違いについて理解している。 教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】目的に応じて、実りある議論のための適切な話して議論するに大きなを検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】教材の内容を検討することができる。	0	0	0	6
	定期考査						0	0		1

「お助及びは対し 日本文の意味。教材と目らの経験ではまった。		根拠」から「主張」へ 【知識及び技能】 議論の前提となっている事柄に気付き、建設的な議論をする力の素地を 養う。 提別の大学では関連した思考と表現 ができる力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 議論に積極的で、建設的な話し合い を行う姿勢を養う。	・指導事項 本文の読解。数材と自らの経験や 出来事の関連付け、協議と発表 ・数材 「魔術化する科学技術」、「マル ジャーナの知恵」、「【実践】 議論の前提を明確化しよう」、ブリント ・一人1台端末の活用等 数材に関連した情報の検索や文章 の読み比べ、発表の資料作り、 FormsやTeamsでの内容確認		0		【知識及び技能】 教材及び問うことに必要な要素についてを理解 している。 教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめ たりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用 漢字を書き、文や文章の中で使うことができ る。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場に応じて、実社会の中かり適切な話題 して、議論の前提を検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係、教材に関連した自 分の身の回りの記とに関心を持っている。 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意 深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深め ようとしている。 【知識及び技能】	0	0	0	8
表現の冷がき方 【知識及び技能] 表現の特別を持たいできる力 を伸ばす。 【思考力、判断力、表現力等 接々な表現がきる力を育成す。 ② 学びにのかう力、人間性等] 主張の論理的な伝え方 「最寒なの表現と表すことができる力を育成するとかできる力を育成するとかできる力を育成するとかできる力を育成するとができる力を育成するとができる力を容します。 主張の論理的な伝え方 「最寒なの表現を理解を地域を表現ができる力を容します。 ② 学がにから力、人間性等] 主張の論理的な伝え方 「思考力、対断力、表現力等 主張の論理的な伝え方 「思考力、対断力、表現力等 主張の論理的な伝え方 「思考力、対断力、表現力等 上張の論理的な伝え方 「思考力、対断力、表現力等 上張の論理的な伝え方 「思考力、対断力、表現力等 上張の論理的な伝え方を理解と、表表を発表 を要える。 「学びに向かう力、人間性等」 と表えるとができる力を 力を育放する。 「学びに向かう力、人間性等」 と表した。 そ表を質料作り、 「主体と 対象及び発材を積極的に説解する姿 を奏う。 本文の説解、教材と自らの経験や 力を含放して、主張の論理的のなことで必要の表えたできる力を 力を育放する。 「学びに向かう力、人間性等」 技術の内容を通して、表表のに関連した情報の検索や文章 の意み比で、発表の資料作り、 「主体と 力を育放する」 「かけ、 また常用 会を表す。 「主体の内容確認 「主体の内容を認め、 「と表の表現の方で表して、表現の表現のなる主張ができる力 力を育放する。」 「かけ、 また常用 会を表す。 「学びに向かう力、人間性等」 を表して、表表の資料作り、 「のまして、表現の内容を通して、表現の内容を通して、とができる力を含成するとから表現を表現しまります。 「と表して、表現の内容を表した。」 「とないる」 「とないる」 「とないる」 「とないる」 「とないのと思いると表しまないる情報を必要して、ままな常用 会を書き、文や文をの現なから理解している。 作家の内容確認 「対の内容・他者との関係、教材に関連した自 分の身の回りのことに関係を持つている。 「とないの情報を通して主張が主張を表える論理構造を受けため を表している。「とないに対した自 分の身の回りのことに関係と表した自 のの身の回りのことに関係と表した自 分の身の回りのことに関係と表した自 のまたができる。「とないことができる」 「「「と表」対し対し、対して主張が主張を支える論理構造を検討する。 「学びに向から力、人間性等」 教材の内容を通して、複数の視点ない。対しない。 「とないできる」とができる。「とないに対しない。 「とないに向から力、人間性等」 を対して、表しいの情報を収集を表した。 「「とないに関係と表し、対しないに関係と表し、対しないに関係と表し、対しないに関係とない、ア・ド・ド・ド・ド・ド・ド・ド・ド・ド・ド・ド・ド・ド・ド・ド・ド・ド・ド・ド		意見を伝えるためのことばを身に付けさせ、他者の意見を受け止めることができる力を伸ばす。 「思考力、判断力、表現力等」 マに関連した思考と表現ができる力を育成する。 (学びに向かう力、人間性等) 議論に積極的な、建設的な話し合い	出来事の関連付け、協議と発表 ・教材 「ポスト真実時代のジャーナリズ ム」、「記憶する体」、「会話と対 訪」、ブリント ・一人1台端末の活用等 教材に関連した情報の検索や文章 の読み比べ、発表の資料作り、	0			数材の内容や評論文の語彙について理解している。 あなおを指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文について様々な観点から情報を収集、整理して、書き出す内容を検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 数材の内容、他者との関係、教材に関連した自 分の身の回りのことに関心を持っている。	0	0	0	9
【知識及び技能】 表現の特徴を建解させ、様々な表現 で自分の意見を表すことができる力 を伸ばす。 【思考力、判断力、表現内等 「機なた表現を理解・検討し、場や状 の中のことは「一ボッブ・広告」 「学びに向から力、人間性等】 検索及び数材を積極的に誘解する姿 を美う。 ・ 指導事項 ・ 本文の影解、教材と自らの経験や 上張の論理的な伝え方 「観測及い技能】 上張の論理的な伝え方 「思考力を育成する」 上張の論理的な伝え方を理解させ、 ・ 大きの意味を表現できる力を育成する。 「地域及び技能】 上張の論理能を理解とは、場や状 の「とは「一大変の影性の」 を表現の変化が表現した例がある。主張ができる力を育成する。 「地域及びた能】」 上張の論理能を理解し、場や状 の「となど、一大の意味の関係がし、協議と発表 ・ 大きしている。 などの意味を表現のでは、主な常用 を表現の態度は、生なない。 大きしてい、表現方法と内容を検討することができる力を を育る。		定期考査						0	0		1
【学びに向かう力、人間性等】 授業及び教材を積極的に読解する姿 夢を養う。 ・指導事項 本文の誘解。教材と自らの経験や 計することができる力を伸ばす。 は服勢な視点から理解と は服勢な視点から理解と を表し、 で表したができる力を伸ばす。 は服考力、判断力、表現力等】 を表しなができる力を育成する。 【学びに向から力、人間性等】 を対しても論理構造を受け止め を表して主張を批判的に検討する。 【学びに向から力、人間性等】 を対しても論理構造を受け止め を表して技験の視点から理解と 本文の誘解。教材と自らの経験や は原本文の誘解。教材と自らの経験や に思考力、判断力、表現力等】 を表して主張を批判的に検討する。 【学びに向かう力、人間性等】 を対しても論理構造を受け止め を表して技験の視点から主張を捉え ることができる力を伸ばった。 「別メクと近代社会」、「名付けと所有」、「【実践】対比の働きを 理解したう」、ブリント ・一人1台端末の活用等 を表してき張を批判的に検討する。 【学びに向かう力、人間性等】 を対して主張を定主張を支える論理構造を検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 を対して主張及正・教材を積極的に読解する姿 を養う。 「学び、対しないました情報の検索や文章 の読みは、予え、判断力、表現力等】 目的に応じて、複数の観点から情報を収集、整理して主張及正・技術の内容を書き、文や文章の中で使うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 を対して主張及正・教材を積極を収集、整理して主張及正・教材の内容・他者との関係、教材に関連した自分の身の回りのことに関心を持っている。 なる上に、「複数の視点から主張を支える語理構造を検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 を対して主張と正・張を表し、「といてきる」 「どびに向かう力、人間性等】 を材の内容・他者との関係、教材に関連した自分の身の回りのことに関心を持っている。 なる上に、上に、上に、上に、上に、上に、上に、上に、上に、上に、上に、上に、上に、上	学	【知識及び技能】 表現の特徴を理解させ、様々な表現 で自分の意見を表すことができる力 を伸ばす。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な表現を理解・検討し、場や状 況る。 【学校に応じた表現ができる力を行 でに向かう力、人間性等】 長業及び、大間極的に誘解する姿勢を養う。 主張の論理的な伝え方 「知識及び技能】 主張の論理的な伝え方を理解させ、 倫はす。 【思考力、判断力、表現力等】 主張の論理構造を理解し、場や状況 に応じて説得力のある主張ができる力を 自述の言葉を理解し、場や状況 に応じて説得力のある主張ができる力を を対して、記得力のある主張ができる力を を対して、記得力のある主張ができる力を を対して、記得力のある主張ができる力を を対して、記得力のある主張ができる力を を対して、記得力のある主張ができる力を を対した。	本文の誘解、教材と自らの経験や出来事の関連付け、協議と発表 ・教材「贅沢の条件」、「【実践】生活 ブリント ・人1台端末の活用等 教材に関連した情報の検索や文章 の読み比べ、発表の資料作り、 FormsやTeamsでの内容確認 ・指導事項 本文の読解。教材と自らの経験や出来事の関連付け、協議と発表 ・教材 「来るべき民主主義」、「主体という物語」、ブリント ・一人1台端末の活用等 の対に関連した情報の検索や文章 の読み比べ、発表の資料作り、	0	0		数材の内容を通して表現の働きについて理解している。 数材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用。 とないます。文や文章の中で使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な表表したり、分の多を検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容を検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容を検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容を検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容を地看との関係、教材に関連した自分の身の回りのことに関心を持ついる。 【発表の態度は積極的で、ほかの人の発表を深めようとしている。 【知識及び技能】 教材の内容を通して主張の論理的な伝え方について理解している。 【知識及び技能】 教材の内容を通して主張の論理的な伝え方について理解している。 【知識及び技能】 教材の内容を通して主張の論理の本伝え方について事解している。 【知識及び技能】 教材を指表が表情、表情、表情、表情、表情、表情、表情、表情、表情、表情、表情、表情、表情、表				
		【学びに向かう力、人間性等】 授業及び教材を積極的に読解する姿勢を養う。 複眼的な視点 【知識及び技能】 複眼的な視点でものごとを把握させ、主張を複数の視点から理解、検討することができる力を伸ばす。 【記を複数の視点から理解し、検討することができる力を解す。 主張を複数の視点から理解し、検討することができる力を有数の視点から理解し、検討することがに向いて主張を推判的に検討することがで向かう力、人間性等】 学びび教材を積極的に読解する姿勢を養う。	FormsやTeamsでの内容確認 ・指導事項 本文の読解。教材と自らの経験や 出来事の関連付け、協議と発表 ・教材 「リスクと近代社会」、「名付け と所有」、「【実践】対比の働きを 理解しよう」、ブリント・ ・人1台端末の活用等 教材に関連した情報の検索や文章 の読み比べ、発表の資料作り、			0	適切なものを決め、様々な観点から情報を収集、整理して主張することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係。教材に関連した自分の身の回りのことに関心を持っている。作文の内容は教材内容の理解を深めようと積極的で、他の作文に対しても論理構造を受け止め、「気臓及び技能」教材の内容を通して複数の視点から主張を捉えることの重要性について理解している。教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、よがき書き、文や文章の中で使うことができる。 【思に応じて、複数の観点から情報を収集、教するととができなって、複数の観点から情報を収集、教材の内容、他者との関係、教材に関連した自分の身の回りのことに関心を持つている。			0	6
		定期考査					N. P. S.	0	0		1
70			ı			_	ı			┪	合計
											70